

CDVJショッピングコンテスト2017 応募用紙

店名	HYPERBOOKS彦根店	法人名	(株) SUNMUSIC
店舗住所	522-0042 滋賀県彦根市戸賀町139-1		
電話番号	0749-30-5151	e-mail	
店長名 (またはご担当者名)			

■ 応募作品のテーマ 学生映画宣伝局～地元大学生のオススメシネマも教えます!!～

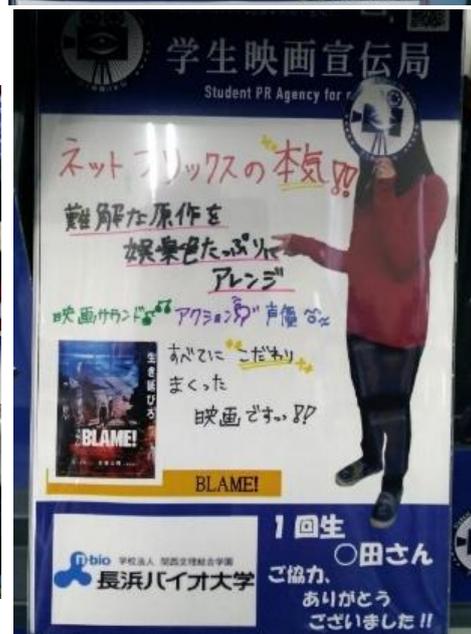
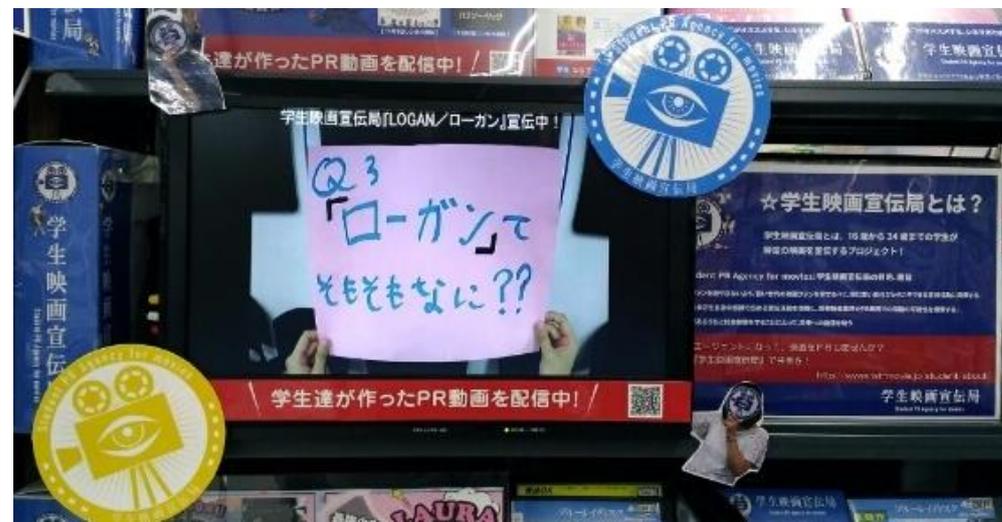
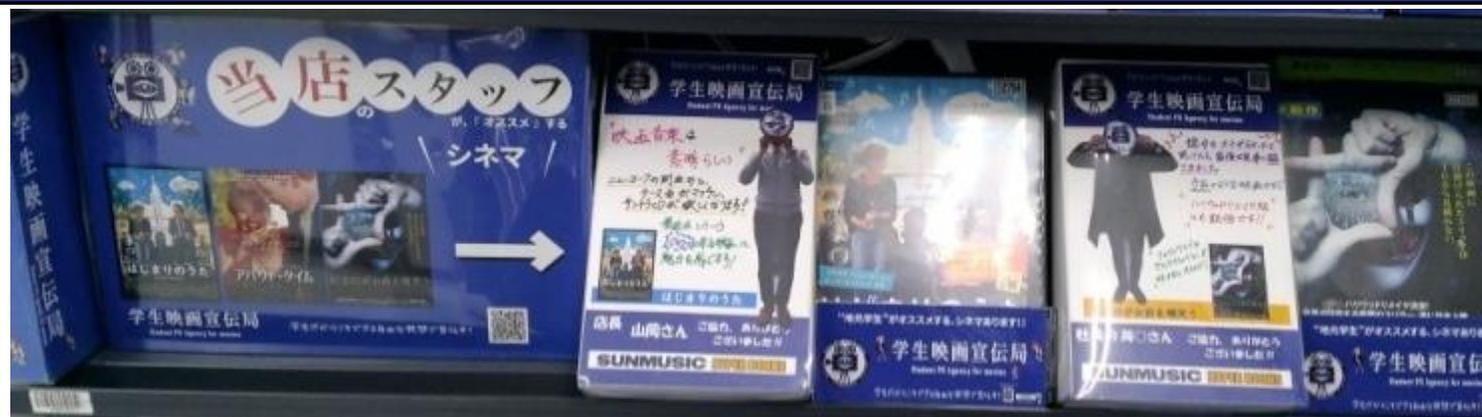
■ 写真貼付欄①



■ コメント(アピールポイント、展開に至った経緯、苦労話、お客さんの反応等、何でもOK!)

まず、『学生映画宣伝局』を展開に至った理由ですが、当店の所在地である滋賀県彦根市は、大学が多く、創業時より多くの地元の大学に通う学生を採用し、店舗運営に貢献いただけてきました。現在も、47名中30名が学生です。その学生達が普段どのような映画を鑑賞し、興味を持っているのか、当店に来店いただく一般のお客様にも知ってもらいたいという気持ちで展開いたしました。まず実施したのは、各大学に映画サークルはあるのか?という疑問を抱いた為、各大学の、学生事務局に問い合わせをし、サークル活動しておられる学生にアポを取っていただき、取材を申し込みました。快く引き受けていただいた学生さんたちのオススメ映画を、『手書きコメント』にて大学別に展開しています。また、一部は当店で勤務している在籍中の従業員も快く参加していただきました。映画好きということもあって、作品の選択やコメントも秀逸です。

■写真貼付欄②



■コメント(アピールポイント、展開に至った経緯、苦労話、お客さんの反応等、何でもOK！)

工夫したポイントは、『学生映画宣伝局』という一見難しそうに思える企画を、ライトユーザーに足を止めていただき、興味を持っていただくように全体イメージを考えました。ロゴマークをカラフルにし、貼り付けることでポップな印象を出しました。トップボードは最大限に引き伸ばし、カメラの造形物を作成し、地元学生のオススメシネマをコラボさせました。元々の企画イメージを壊すことなく、2つのテーマを合わせるポップデザインを作成するのに苦労しました。実際のお客様の反応も、上々で、親しみを感じながら見入っておられます。今後も当店では、地元の学生を巻き込んだ企画やイベントを計画し、彦根市に在住のお客様と学生とをつなぐ架け橋になればと思います。最後に、『学生映画宣伝局』という試みをもっと早く認知していれば、僕も私も『エージェントになってみたい!』という学生スタッフがたくさんいたのもうれしい限りです。

CDVJショップコンテスト2017 応募用紙

店名	HYPERBOOKS彦根店	法人名	(株) SUNMUSIC
店舗住所	522-0042 滋賀県彦根市戸賀町139-1		
電話番号	0749-30-5151	e-mail	

店長名 (またはご担当者名)

■ 応募作品のテーマ ワンダーウーマン (DC) VSスパイダーマン (マーベル)

■ 写真貼付欄①



■ コメント(アピールポイント、展開に至った経緯、苦労話、お客さんの反応等、何でもOK!)

一旦は、アメコミコーナーとして売り場を作成しました。元々好きなユーザーは足を止めてくれました。しかし反応はマイチ…興味のないお客様は素通りの状態(泣) 一体、何が悪いのか? 作成チームとミーティングを実施し、アメコミを見たことのないスタッフも交え、ミーティングを実施しました。その結果、『アベンジャーズは見てみたいけど、キャラが判らない…』『どこから見るの?』と、初心者には作品数も多く、敬遠しがちだということがリサーチの結果分かりました。その結果、アベンジャーズやジャスティス・リーグを100%楽しむには、どの順番で観るのかを明確にする必要があると判断し、初心者にも取っ付きやすいように工夫をしました。そこでフェイズ毎にPOPを作成し、見る順番を分かりやすくしたところ、初心者の方にも足を止めてもらえるようになり、レンタルの回転数も上がりました。



■コメント(アピールポイント、展開に至った経緯、苦労話、お客さんの反応等、何でもOK！)

『自分勝手な展開に偏りすぎていたことに気付くことができた』それも私自身、作成チームのメンバーが成長できたことだと思います。スパイダーマンのバルーンは、店長の弟さんが結婚された際、披露宴で飛んでいたそうで、『コレは面白い、使えるんじゃないか！』とピンときたようで、採用しました。

売り場は原作がコミックであることから、そのイメージを大事にし、原作絵を多用した売り場にしています。また原作コミックも同時に展開し、映画の起源が少しでも分かってもらえるようにしています。これからますますアメコミ映画も盛り上がってきますので、さらに売場を進化・昇華させていき、コーナーを常設させたいと思います。また企画を設置することで新たに獲得したユーザーを逃さないよう、わかり易いPOPを増やし、更なるファンが増加していただければ幸いです。

